

原子力発電所のサイト別の避難計画対象住民の人数

平成28年4月

対象発電所	PAZ・UPZ合計	PAZ人口	UPZ人口
泊	75,937	2,815	73,122
東通	72,941	3,069	69,872
女川	207,061	1,541	205,520
福島第一	478,700	—	478,700
福島第二	478,700	3,000	475,700
柏崎刈羽	466,500	21,700	444,800
東海	960,479	79,895	880,584
浜岡	842,049	47,711	794,338
志賀(*1)	163,547	4,145	159,402
敦賀	332,008	352	331,656
美浜	289,620	980	288,640
大飯	167,972	1,053	166,919
高浜(*2)	179,488	8,806	170,682
島根	467,728	10,456	457,272
伊方(*2)	123,838	5,496	118,342
玄海	266,365	8,306	258,059
川内(*2)	214,202	4,902	209,300

(出典)各自治体の地域防災計画・避難計画等

(*1)「ワーキングチームの活動報告(2) 平成27年4月3日 内閣府政策統括官(原子力防災担当)付」より

(*2)「高浜地域の緊急時対応」平成27年12月18日 原子力防災会議資料より

「伊方地域の緊急時対応」平成27年10月6日 原子力防災会議資料より

「川内地域の緊急時対応」平成26年9月12日 原子力防災会議資料より

内閣府提出資料

自治体のSPEEDー活用

経産省、規制委押し切る

政府は17日、放射線物質の拡散を予測する緊急時迅速放射線影響予測ネットワークシステム(SPEED)を自治体の判断で住民避難に使えるようにするため、本格的に動き出した。原子力規制委員会は避難には使えないとの認識を示すが、エネルギー政策を担う経産省が主導し、活用に向けた地ならしを進める。背景には、原発の再稼働を推し進める政府の意向がにじむ。東京電力相模川羽原の再稼働の鍵を握る泉田裕彦知事への配慮との見方も出ている。(東京交社・長野清隆)



再稼働視野 泉田知事に配慮か

林幹雄経産省相(右)と原子力災害対策について話し合う泉田裕彦知事(左手前) 11日、経産省

東電福島第一原発事故から5年となった11日、SPEEDの活用を巡る方針を決めた原子力関係閣僚会議に出席した泉田知事は、終了後に経産省で林幹雄経産相と向き合った。

「安全対策に終わりはない」と述べた林氏に対し、泉田知事は「各官庁の調整に奔走してもらった。感謝したい」と満面の笑みで応じた。

政府の決定は、泉田知事が取りまとめた全国知事会の要望に全面的に沿っていたからだ。

SPEEDをめぐる、国の組織内で認識が異なる格好だ。規制委は、予測に

必要な放射線物質の放出タイミングを事前に把握することは不可能で「混乱の原因になる」として使用を認めない立場だ。16日の定例会合でも、この考えを変えないことを確認した。

一方、政府は使用を認める方針を巡る配分はな

い。17日には経産省などの担当者が他地域に先駆け、泉田知事と真打ち面談し、避難計画の充実策を話し合った。

林氏は同じ日、東電など11事業者のトップを経産省に集め、知事会の要望に沿う形で事故収束に当たる子

どもの強化を指示するなど、動きを急加速させている。

一部自治体からは、国の原子力防災への消極的な姿勢に不満が出ていた。経産省は「地元と正面から向き合って実効性ある対策をつくり上げる」(林氏)こと

SPEEDをめぐる動き 国の原子力災害対策指針では、住民が避難する際に放射性物質の拡散予測値を使わず、原発周辺の実測値で判断している。一方、全国知事会は昨年7月、避難時のSPEEDの活用を求める要望書を政府に提出。政府は今年11日の原子力関係閣僚会議で、自治体が自己責任で使うことは「妨がない」とする方針を決めた。自治体が独自に所有する場合には財政支援する。

で、自治体に再稼働の同意を促したいとの狙いが透けて見える。

今回の決定は、SPEEDの活用で最後まで折り合わなかった規制委を、経産省が押し切る形で固めた重要施策だ。事前の調整について、規制委の田中俊一委員長は「規制庁が結ぶように話があったが、できないと言った」と明かす。

国批判の最前線に立つ泉田知事を意識した対応とみる向きもある。

決定方針では、甲状腺被

ばくを防ぐ安定ヨウ素剤について原発から5〜30キロ圏内の事前配布を認めて必要な財政支援をするなど、知事が求めてきた項目がかなりの部分で認められた。

本県選出の自民党国會議員は「形の上では全国知事会に応えたことになっているが、実際は相模川羽原の再稼働に慎重とされる泉田知事への対応が狙いだ」と推測する。党員選挙でも「国としては知事に誠意を見せた。今度は知事がどういった態度を取るかが注目だ」としている。

